PgDumpNavi

マニュアル

PostgreSQL ダンプファイル参照ツール

Ver 1.0.0

2026 年 10 月 7 日

目次

1. PgDumpNavi でできること 3
2. 動作環境とインストール 4
　インストール 5
　アンインストール 5
3. 画面の見かた 6
　メニューとショートカットキー 7
4. ダンプを開く 8
　pg_dumpall のダンプ 9
　ダンプを閉じる 9
5. 行データを見る 9
　グリッドの見かた 9
　行の詳細 9
　表示する列を選ぶ 10
6. 行を絞り込む 11
7. WHERE 条件式の書き方 12
8. CSV に出力する 13
9. DDL を見る 14
10. ダンプのプロパティ 15
11. 対応しているダンプ形式 15
12. 設定ファイル 17
13. ライセンスの登録 17
　購入方法 18
　登録の手順 18
14. 困ったときは 19
　既知の制限 20
　お問い合わせ 21
15. 著作権・免責事項・連絡先 21

PgDumpNavi は、PostgreSQL の pg_dump や pg_dumpall で出力したダンプファイルを、PostgreSQL サーバーに復元せずにそのまま開いて、テーブルの一覧と中身を見るための Windows 用ソフトです。このマニュアルでは、ダンプを開くところから、行データの見かた、絞り込み、CSV への出力、ライセンスの登録までを順に説明します。

> ライセンスを登録していない間は、各テーブルの先頭 100 行だけを読み込みます。テーブルの一覧と件数、DDL、プロパティは制限なく使えますので、お手元のダンプで動作を確かめてからご購入ください。登録のしかたは「13. ライセンスの登録」をご覧ください。

1. PgDumpNavi でできること

pg_dump のダンプは、本来は PostgreSQL に復元して使うものです。ところが「このダンプにどの表が何件入っているか知りたい」「復元先の環境がない」「特定の行だけ確認したい」「CSV に取り出して Excel で見たい」といった場面では、復元のためだけにサーバーを用意するのは手間がかかります。PgDumpNavi は、ダンプファイルの形式(PostgreSQL が公開している pg_dump のソースに準拠)を直接読むことで、ファイルを開くだけでこれらをこなします。PostgreSQL のサーバーもクライアントも必要ありません。

機能	内容
テーブル一覧	ダンプに含まれるテーブルを、件数・列数つきで一覧します。名前で絞り込めます
行データの表示	1 ページ 1,000 行(変更可)ずつのページ切り替えで表示します。100 万行のテーブルも軽快に扱えます
絞り込み	SQL の WHERE 句と同じ書き方の条件式と、全列を対象にしたキーワード検索で、一致する行だけを表示します
行の詳細	1 行の全列を「カラム・型・値」の形で縦に並べて表示します。列の多いテーブルや長い値の確認に使います
表示列の選択	グリッドに表示するカラムを選べます
CSV 出力	全行 / 絞り込み結果 / 表示中のページを CSV に書き出します。文字コード、区切り文字、ヘッダ行、引用符、NULL の表記を指定できます

機能	内容
DDL の表示	テーブルの CREATE TABLE と制約・インデックス・コメント、またはダンプ全体の DDL(ビュー、シーケンス、関数など)を表示し、コピー・保存できます
プロパティ	ダンプの形式、データベース名、サーバーと pg_dump のバージョン、エンコーディング、圧縮方式、作成日時、テーブル数を表示します
pg_dumpall	複数のデータベースを含むダンプは、データベースを切り替えて表示します

次のことはできません。目的が合わない場合は、pg_restore や psql をお使いください。

- ダンプの内容を変更したり、PostgreSQL に復元したりすること
- tar 形式(pg_dump -Ft)と、lz4 / zstd で圧縮したダンプを読むこと(gzip 圧縮と無圧縮に対応しています)
- 並べ替え、集計、テーブル同士の結合

2. 動作環境とインストール

項目	内容
OS	Windows 10 / Windows 11(64bit 版)
ランタイム	不要です。必要なライブラリは実行ファイルに含まれています(Visual C++ の再頒布可能パッケージなどを別にインストールする必要はありません)
PostgreSQL	不要です。サーバーもクライアント(psql)も使いません
ディスク	テーブルを開くと、そのテーブルの行データを Windows の一時フォルダ(%TEMP%¥PgDumpNavi)に展開します。大きなテーブルを開くときは、その分の空き容量が必要です。一時ファイルは終了時に削除します
表示	Windows 11(表示倍率 150%)で動作を確認しています。高 DPI 環境でもにじまずに表示します

インストール

ダウンロードした zip を展開し、中のフォルダを好きな場所に置いてください。それだけで使えます。インストーラーはありません。フォルダには次のファイルが入っています。

ファイル	役割
PgDumpNavi.exe	本体
PgDumpNavi.ini	設定ファイル。ページ行数、CSV 出力の設定、ライセンス情報などを保存します
manual\PgDumpNavi_マニュアル.pdf	このマニュアル
readme.txt	概要と注意事項

> **ご注意。** Program Files など、書き込みできないフォルダに置くと設定が保存できません。ドキュメントフォルダやデスクトップの下など、書き込みできる場所に置いてください。

初回の起動時に「Windows によって PC が保護されました」と表示されることがあります。本ソフトはコード署名をしていないためで、「詳細情報」を押してから「実行」を押すと起動できます。

アンインストール

PgDumpNavi はインストーラーを使わないため、Windows の「設定 → アプリ」や「コントロールパネル → プログラムの追加と削除」の一覧には表示されません。次の手順で削除してください。

1. PgDumpNavi を終了します。
2. PgDumpNavi.exe が入っているフォルダ(PgDumpNavi.exe、PgDumpNavi.ini、readme.txt、manual フォルダ)を、フォルダごと削除します。
3. 強制終了などで一時ファイルが残っている場合は、%TEMP%¥PgDumpNavi フォルダも削除します。エクスプローラーのアドレス欄に %TEMP%¥PgDumpNavi と入力して Enter を押すと開けます。通常の終了では自動で消えます。
4. ショートカットを作っていた場合は、それも削除します。

レジストリは使っていないため、これ以外の削除作業は必要ありません。ライセンスの登録情報は PgDumpNavi.ini にあり、フォルダと一緒に消えます。あとで使い直す場合に備えて、ライセンスキーは控えておいてください。

3. 画面の見かた

PgDumpNavi.exe を起動すると、次のメイン画面が開きます。ダンプを開くと、左にテーブルの一覧、右に行データのグリッドが表示されます。ウィンドウの大きさは自由に変えられ、終了時の大きさを次回も使います。

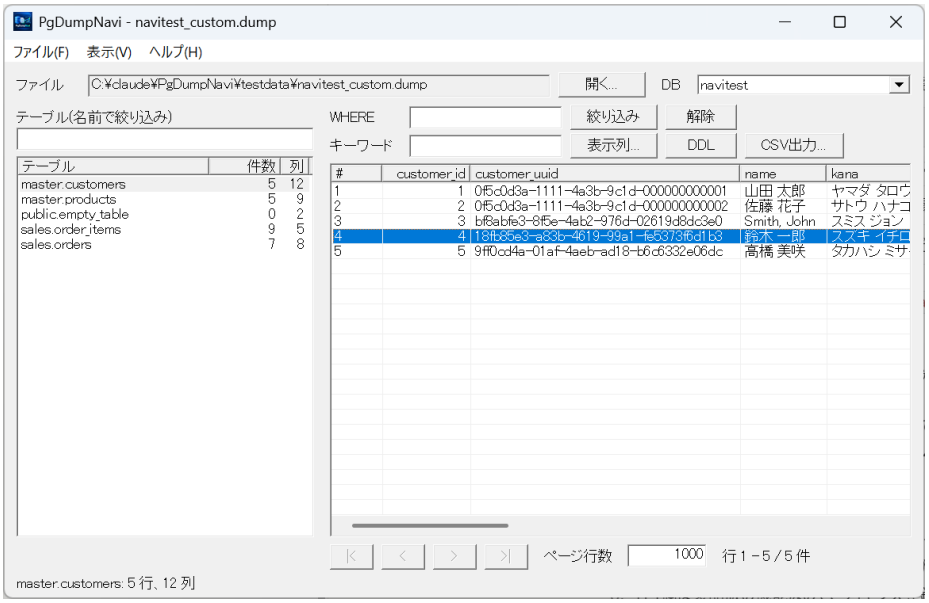


図 3-1 メイン画面(ダンプを開いた状態)

場所	役割
ファイル	開いているダンプファイルのパス。右の [開く...] でダンプを選びます
DB	pg_dumpall のダンプで、表示するデータベースを切り替えます。 pg_dump のダンプでは 1 つだけです
テーブル(名前で絞り込み)	ここに文字を入れると、名前にその文字を含むテーブルだけが下の一覧に残ります
テーブル一覧	テーブル名(スキーマ名つき)、件数、列数。クリックすると右に行データを読み込みます
WHERE / キーワード	行を絞り込む条件。[絞り込み] で適用し、[解除] で全行に戻します(6 章)

場所	役割
[表示列...] [DDL] [CSV 出力...]	それぞれ表示する列の選択(5 章)、DDL の表示(9 章)、CSV 出力(8 章)
行データのグリッド	左端の # はテーブル内の行番号です。ダブルクリックで「行の詳細」が開きます
ページ移動	|< < > >| で先頭・前・次・末尾のページに移動します。「ページ行数」で 1 ページの行数を変えられます
行 1 - 5 / 5 件	表示中の行の範囲と、全体(絞り込み中は一致した行)の件数
ステータス(最下段)	選択中のテーブルの行数・列数や、処理の結果

メニューとショートカットキー

ボタンにある機能はメニューからも実行できます。よく使うものにはショートカットキーがあります。

メニュー	キー	内容
ファイル - 開く...	Ctrl+O	ダンプファイルを開きます
ファイル - 閉じる		開いているダンプを閉じます
ファイル - CSV 出力...	Ctrl+E	CSV 出力画面を開きます
ファイル - DDL 表示	Ctrl+D	DDL 画面を開きます
ファイル - プロパティ	Ctrl+R	ダンプのプロパティを表示します
ファイル - 設定保存		設定を PgDumpNavi.ini に保存します(終了時にも自動で保存します)
ファイル - 終了		PgDumpNavi を終了します
表示 - 表示列...		表示する列を選びます
表示 - 絞り込み解除		絞り込みを解除して全行の表示に戻します
表示 - 行の詳細		選択中の行の全列を縦に表示します(グリッドのダブルクリック、Enter と同じ)

メニュー	キー	内容
表示 - 先頭 / 前 / 次 / 末尾ページ	Ctrl+Home / Ctrl+← / Ctrl+→ / Ctrl+End	ページを移動します
ヘルプ - ライセンス登録...		ライセンスキーを登録します(13 章)
ヘルプ - バージョン情報		バージョンとライセンスの登録状態を表示します

> Ctrl+← と Ctrl+→ はページ移動に使っているため、WHERE 欄などの入力欄で単語単位にカーソルを動かすことはできません。

4. ダンプを開く

ダンプファイルは、次のどの方法でも開けます。

- [開く...] ボタン、またはメニューの [ファイル] - [開く...](Ctrl+O)でファイルを選ぶ
- エクスプローラーからウィンドウの上にファイルをドラッグ&ドロップする
- エクスプローラーで PgDumpNavi.exe のアイコンにファイルをドロップする(起動と同時に開きます)

形式はファイルの拡張子ではなく中身で判定しますので、拡張子が .dump でも .sql でも .backup でも構いません。Directory 形式(pg_dump -Fd)の場合は、フォルダの中にある toc.dat を選んでください。

開くと、ダンプ全体を走査してテーブルと件数を数えます。この間は進捗の画面が出ます。Plain SQL 形式なら数 GB のファイルでも数十秒程度ですが、Custom / Directory 形式は件数を数えるために全テーブルの行データを展開するので、大きなダンプではそれなりに時間がかかります。[処理中止] を押すと、確認のうえ走査をやめられます。

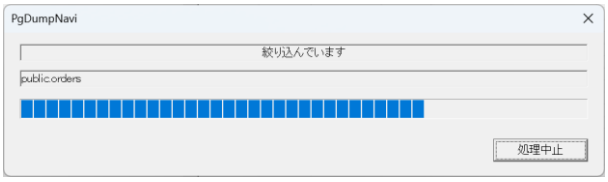


図 4-1 進捗画面(走査・読み込み・絞り込みの間に表示されます)

走査が終わると、左にテーブルの一覧(件数・列数)、右に先頭のテーブルの行データが表示されます。別のテーブルをクリックすると、そのテーブルの行データを読み込んで表示します。読み込んだ行データは Windows の一時フォルダに展開され、ページ移動や絞り込みはそこから読みます。

pg_dumpall のダンプ

pg_dumpall で出力したダンプには複数のデータベースが入っています。開くと右上の DB 欄に含まれるデータベースが並びますので、見たいものを選ぶと、そのデータベースのテーブル一覧に切り替わります。ロールやテーブルスペースだけの部分(データベースに属さない部分)は、テーブル一覧には出ません。

ダンプを閉じる

別のダンプを開けば、前のダンプは自動で閉じます。明示的に閉じるときはメニューの [ファイル] - [閉じる] を使います。閉じると一時フォルダの行データも削除されます。

5. 行データを見る

グリッドの見かた

右のグリッドには、テーブルの行が 1 ページずつ表示されます。表示のきまりは次のとおりです。

- 1 ページは 1,000 行です。「ページ行数」の欄に 10 ～ 100,000 の数を入れて Enter を押すと変えられます(設定ファイルに保存されます)
- |< < > >| のボタン、または Ctrl+Home / Ctrl+← / Ctrl+→ / Ctrl+End でページを移動します
- NULL は (NULL) と表示します。CSV 出力の NULL の表記とは別です
- 改行を含む値は 1 行にまとめて表示します。長い値は先頭 300 文字までで、全文は「行の詳細」で見られます
- 値はダンプに書かれた文字列のまま表示し、型ごとの書式変換はしません。boolean は t / f、bytea は ¥x に続く 16 進、配列は {a,b}、日時はダンプに記録された書式のままです
- 列の幅は、列見出しの境界をドラッグして変えられます。並べ替えはできません

行の詳細

行をダブルクリックするか、行を選んで Enter を押す(またはメニューの [表示] - [行の詳細])と、その行の全列を「カラム・型・値」の形で縦に並べて表示します。列の多いテーブルや、グリッドでは切れてしま

う長い値を見るときに使います。[コピー] で、表示している内容をタブ区切りのテキストとしてクリップボードにコピーできます。

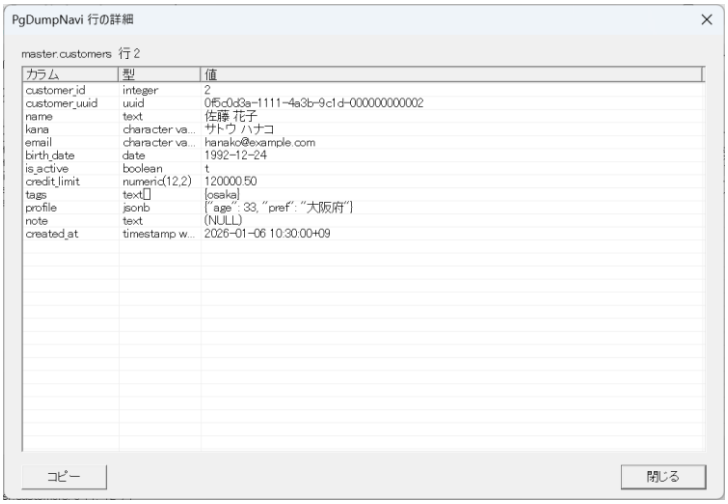


図 5-1 行の詳細

表示する列を選ぶ

[表示列...] ボタン(またはメニューの [表示] - [表示列...])で、グリッドに表示するカラムを選べます。チェックを外した列はグリッドに出なくなります。[全選択] [全解除] でまとめて切り替えられます。少なくとも 1 列は選んでください。

ここで減らした列は、CSV 出力の「表示列のみ出力する」でそのまま出力の対象にできます。選んだ列はテーブルを切り替えると元に戻ります。

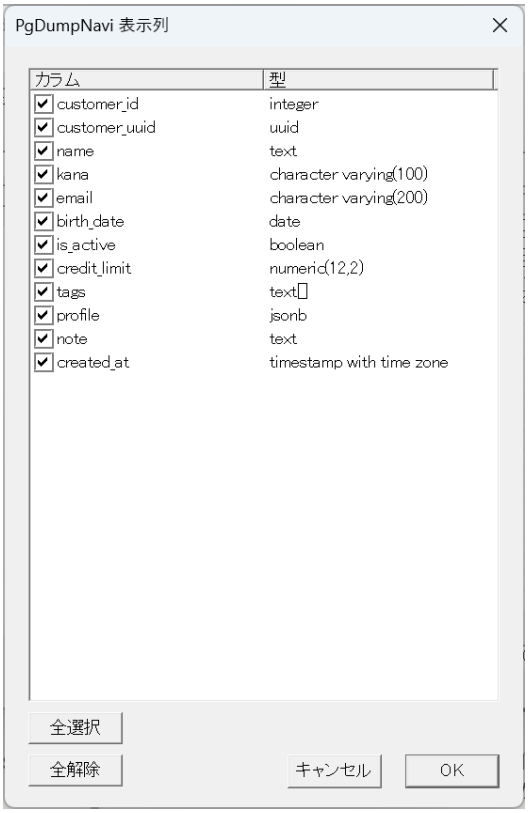


図 5-2 表示列の選択

6. 行を絞り込む

WHERE 欄とキーワード欄に条件を入れて [絞り込み] を押す(または欄の中で Enter)と、条件に一致する行だけがグリッドに残ります。絞り込み中は「行 1 - 100 / 1,234 件」のように、一致した行の件数が表示されます。[解除](またはメニューの [表示] - [絞り込み解除])で全行の表示に戻ります。

欄	書き方
WHERE	SQL の WHERE 句と同じ形の条件式を書きます(先頭の WHERE は不要)。書き方は 7 章をご覧ください。例: status = 'SHIPPED' AND total > 50000
キーワード	文字列を 1 つ書きます。全列のどこかにその文字列を含む行が一致します(部分一致、大文字小文字は区別しません)。NULL の列は一致しません

両方を入れたときは、両方に一致する行だけが残ります。絞り込みはテーブルの全行(未登録のときは読み込んだ 100 行)を対象に行い、100 万行のテーブルでも 1 秒前後で終わります。

条件式に誤りがあると「WHERE 条件式が不正です。」と理由つきで表示され、絞り込みは行われません。存在しないカラム名、括弧の対応、BETWEEN の AND の抜けなどが多い原因です。

7. WHERE 条件式の書き方

WHERE 欄には、SQL の WHERE 句と同じ形で条件を書きます。使える要素は次のとおりです。

種類	書き方
比較	= <> != < <= > >=
パターン	[NOT] LIKE [NOT] ILIKE(ILIKE は大文字小文字を区別しない)。% は任意の文字列、_ は任意の 1 文字、¥ でエスケープ
範囲・集合	[NOT] BETWEEN a AND b、[NOT] IN (a, b, ...)
NULL の判定	IS NULL、IS NOT NULL
論理	AND OR NOT ( )
算術	+ - * / %、文字列の連結 ||
関数	UPPER LOWER LENGTH SUBSTR SUBSTRING LEFT RIGHT TRIM LTRIM RTRIM BTRIM STRPOS POSITION REPLACE COALESCE NULLIF ABS FLOOR CEIL ROUND

書くときのきまりです。

- 文字列は単一引用符で囲みます。文字列の中の ' は '' と 2 つ重ねます
- カラム名は大文字小文字を区別しません。キーワード(AND、LIKE など)も同様です
- 数値型(integer、numeric など)と boolean 型の列は数値・真偽値として、それ以外の列は文字列として比較します
- 日付や時刻の列は文字列として比較します。'YYYY-MM-DD' の形で書けば、文字列の大小がそのまま日付の前後になります
- NULL との比較(= NULL など)は常に偽です。NULL の行を探すときは IS NULL を使ってください

条件式の例です。

```
status = 'SHIPPED' AND total > 50000
name LIKE '%田%' OR email ILIKE '%@example.com'
order_date BETWEEN '2026-01-01' AND '2026-03-31'
upper(code) IN ('A01', 'B02')
note IS NULL AND is_active = true
length(kana) >= 10 AND substr(kana, 1, 2) = 'ヤマ'
```

8. CSV に出力する

[CSV 出力...] ボタン(またはメニューの [ファイル] - [CSV 出力...]、Ctrl+E)で、表示中のテーブルを CSV ファイルに書き出します。出力範囲と形式を選んで [出力...] を押し、保存先を指定すると出力が始まります。終わると出力した行数と保存先が表示されます。

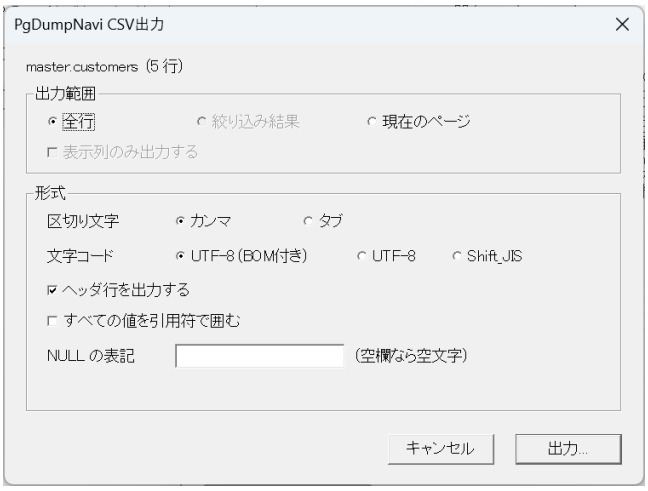


図 8-1 CSV 出力

項目	内容
出力範囲	全行 / 絞り込み結果 / 現在のページ。「絞り込み結果」は絞り込み中だけ選べます
表示列のみ出力する	表示列の選択で列を減らしているときに選べます。チェックすると、その列だけを出力します
区切り文字	カンマ、またはタブ
文字コード	UTF-8(BOM 付き)/ UTF-8 / Shift_JIS。Excel で開くなら BOM 付き UTF-8 か Shift_JIS が文字化けしません。Shift_JIS にできない文字は ? になります
ヘッダ行を出力する	1 行目にカラム名を出します
すべての値を引用符で囲む	チェックしないときは、区切り文字・引用符・改行を含む値だけを引用符で囲みます
NULL の表記	NULL の値を何と書くか。空欄なら空文字(何も書かない)です

形式の設定は設定ファイルに保存され、次回も同じ設定で開きます。

> **ご注意。** 出力先の CSV を Excel で開いたまま同じファイルに出力すると、ファイルがロックされているため失敗します。Excel を閉じてから実行してください。また、先頭列の名前が「ID」で始まる CSV は Excel が別の形式(SYLK)と誤認するため、その列名だけを引用符で囲んで出力します。

9. DDL を見る

[DDL] ボタン(またはメニューの [ファイル] - [DDL 表示]、Ctrl+D)で、テーブル定義の SQL を表示します。上のラジオボタンで範囲を切り替えます。

範囲	内容
選択中のテーブル	CREATE TABLE と、そのテーブルに対する制約(主キー、外部キー、ユニーク、チェック)、インデックス、コメント、所有者の設定など
ダンプ全体の DDL	ダンプに含まれるすべての定義。スキーマ、ビュー、シーケンス、関数、トリガー、権限なども含みます(行データの COPY / INSERT は除きます)

[コピー] でクリップボードへ、[保存...] で SQL ファイルへ書き出せます。表示される SQL は pg_dump がダンプに書いたものそのままで、PgDumpNavi が整形や書き換えをすることはありません。

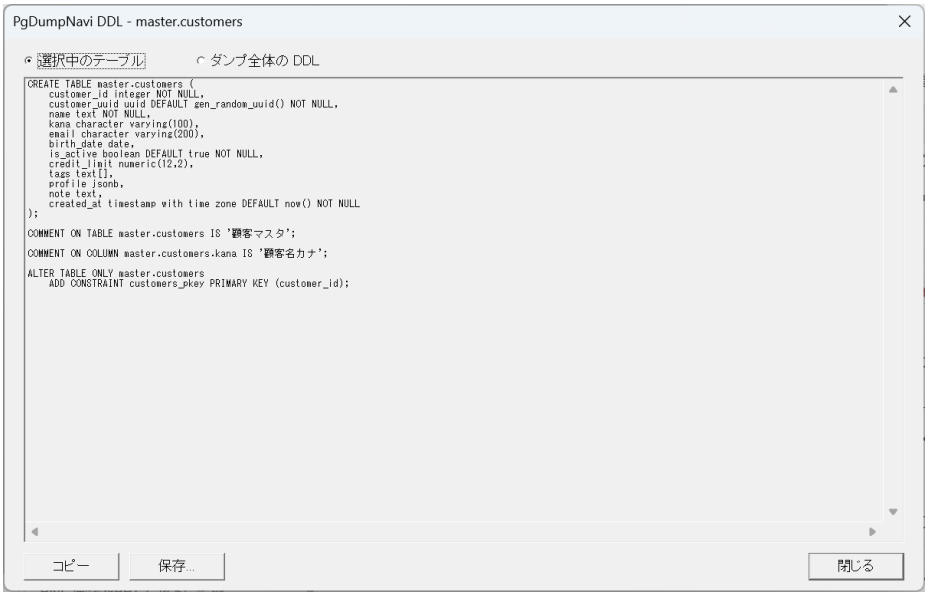


図 9-1 DDL の表示

10. ダンプのプロパティ

メニューの [ファイル] - [プロパティ](Ctrl+R)で、開いているダンプの情報を表示します。「どの環境の、いつのダンプか」を確かめるときに使います。

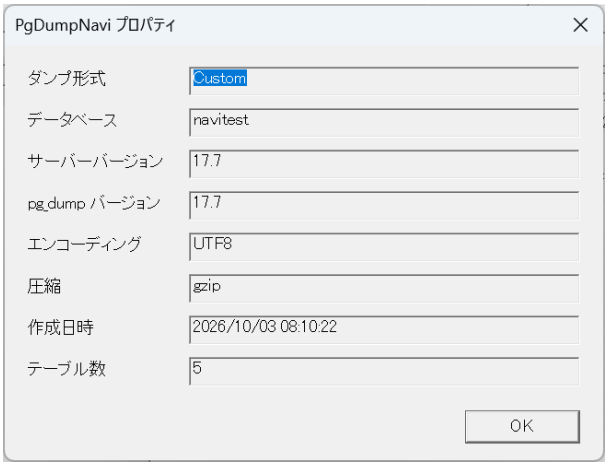


図 10-1 プロパティ

項目	内容
ダンプ形式	Plain SQL / Custom / Directory / pg_dumpall。gzip 圧縮の Plain SQL はその旨も表示します
データベース	ダンプ元のデータベース名(pg_dumpall では選択中のデータベース)
サーバーバージョン	ダンプ元の PostgreSQL のバージョン
pg_dump バージョン	ダンプを作った pg_dump のバージョン
エンコーディング	ダンプの文字コード(UTF8、EUC_JP、SJIS など)。この文字コードで値を読み取ります
圧縮	gzip / none(無圧縮)。Plain SQL では gzip 圧縮ファイルかどうか
作成日時	ダンプを作成した日時(Custom / Directory のみ。Plain SQL では記録されないため空欄)
テーブル数	行データを持つテーブルの数

11. 対応しているダンプ形式

次の形式を読めます。形式は拡張子ではなく中身で判定します。

形式	pg_dump のオプション	備考
Plain SQL	-Fp(既定)	COPY 形式の行データのほか、--inserts / --column-inserts で出力した INSERT 文にも対応
Plain SQL の gzip 圧縮	-Fp | gzip など	.sql.gz のようなファイル。中身で判定するので拡張子は問いません
Custom	-Fc	gzip 圧縮(既定)と無圧縮(-Z 0)
Directory	-Fd	フォルダ内の toc.dat を指定します。データファイルの gzip 圧縮・無圧縮どちらにも対応
pg_dumpall	pg_dumpall	複数のデータベースを含む Plain SQL。DB 欄で切り替えます

PostgreSQL 9.6 ～ 17 の pg_dump で作ったダンプを想定しています(開発時の確認は PostgreSQL 17.7 で行いました)。

次のものは対象外です。開いたときにその旨を表示します。

- tar 形式(pg_dump -Ft)。-Fc、-Fd、-Fp で出力し直してください
- lz4 / zstd で圧縮したダンプ(pg_dump --compress=lz4 / zstd)。gzip 圧縮か無圧縮で出力し直してください
- PostgreSQL 18 以降の pg_dump が新しいアーカイブ形式で出力したダンプ(「対応していないアーカイブバージョンです」と表示します)

PgDumpNavi で読む前提で新しくダンプを取るなら、次のコマンドが確実です。

```
pg_dump -Fc -f mydb.dump mydb          (Custom、gzip 圧縮)
pg_dump -Fp -f mydb.sql mydb           (Plain SQL)
pg_dump -Fd -f mydb_dir mydb           (Directory。開くときは mydb_dir\toc.dat)
pg_dumpall -f all.sql                  (全データベース)
```

12. 設定ファイル

設定は、実行ファイルと同じフォルダの PgDumpNavi.ini に保存します。終了時に自動で保存するほか、メニューの [ファイル] - [設定保存] でも保存できます。文字コードは UTF-8(BOM 付き)で、テキストエディタで編集できます。

キー	内容
DEBUG	解析ログ(PgDumpNavi.log)を出力するか(Y / N)。障害調査のとき以外は N のままにしてください
PAGE_SIZE	1 ページに表示する行数(10 ～ 100000)
CSV_DELIMITER	CSV の区切り文字(COMMA / TAB)
CSV_HEADER	CSV にヘッダ行を出力するか(Y / N)
CSV_QUOTE_ALL	CSV ですべての値を引用符で囲むか(Y / N)
CSV_ENCODING	CSV の文字コード(UTF8BOM / UTF8 / SJIS)
CSV_NULL_TEXT	CSV での NULL の表記(空欄なら空文字)
LAST_DIR	最後にダンプを開いたフォルダ
WINDOW_WIDTH / WINDOW_HEIGHT / WINDOW_MAXIMIZED	終了時のウィンドウの大きさ(0 で既定)と最大化の状態
LICENSE_NAME / LICENSE_KEY	ライセンスの登録名とキー。[ヘルプ] - [ライセンス登録] で設定します

環境変数 PGDUMPNAVI_INIFILE_PATH に INI ファイルのフルパスを設定すると、そのファイルを使います。複数の設定を使い分けたいときや、実行ファイルのフォルダに書き込めないときにお使いください。

13. ライセンスの登録

PgDumpNavi はシェアウェアです。試用に期間の制限はありません。ライセンスを登録していない間は、各テーブルの先頭 100 行だけを読み込み、行データの表示・絞り込み・CSV 出力はこの 100 行が対象になります。グリッドの件数表示に「[未登録: 先頭 100 行]」と出ているときがこの状態です。テーブルの一覧と件数、DDL、プロパティは制限なく使えます。

購入方法

継続してお使いいただける場合は、Vector のシェアレジサービスからご購入ください。ライセンスキー(PDN1-XXXX-XXXX-XXXX の形式)は、お支払いの確認後に Vector からメールで届きます。

価格	5,000 円(税込)。1 ライセンスにつき、ご本人が使用する PC でお使いいただけます
送金方法	Vector シェアレジ(作品番号 SR511580)。Vector の本ソフトの紹介ページから申し込めます
申し込みの流れ	紹介ページからシェアレジに申し込む → 作者がお客様専用のキーを Vector に登録すると、Vector からお支払いのご案内メールが届く(原則 1〜2 日以内) → お支払い(支払い方法はその画面でお選びいただけます) → お支払いの確認後、Vector からライセンスキーがメールで届く
作者の Web ページ	https://pgdumpnavi.goldteru2fft.workers.dev/

登録の手順

1. メニューの [ヘルプ] - [ライセンス登録...] を開きます。
2. 「登録名」にお名前(購入時のお名前)、「キー」にお送りしたライセンスキーを入力します。キーは大文字小文字やハイフンの有無を問いません。
3. [登録] を押します。「ライセンスを登録しました」と表示されれば完了です。キーが違うときは「ライセンスキーが正しくありません」と表示されますので、写し間違いがないかご確認ください。
4. [ヘルプ] - [バージョン情報] に「登録済み: お名前」と表示されていることを確かめます。開いているテーブルは登録後に読み直すと全行が表示されます。



図 13-1 ライセンス登録

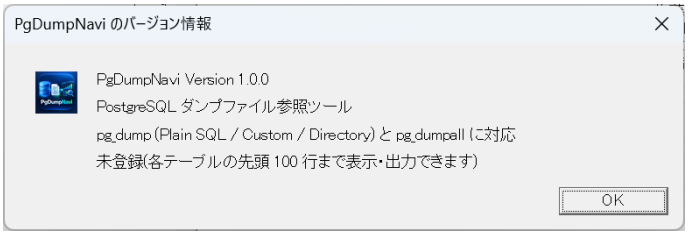


図 13-2 バージョン情報(未登録のとき)

登録内容は PgDumpNavi.ini に保存されます。別の PC へ移すときはフォルダごとコピーするか、新しい PC で同じキーを登録してください。登録を取り消すときは、ライセンス登録画面の [登録解除] を押します。

> **お願い。** ライセンスキーは購入者本人がご自身の PC で使うためのものです。第三者への譲渡・公開はご遠慮ください。

14. 困ったときは

表示されるメッセージ・現象	原因と対処
Windows によって PC が保護されました (初回の起動時)	コード署名をしていないため、Windows の SmartScreen が表示しています。「詳細情報」を押してから「実行」を押すと起動できます
pg_dump / pg_dumpall で出力された PostgreSQL のダンプファイルではありません。	pg_dump 以外のファイルか、中身が壊れています。tar 形式や lz4 / zstd 圧縮のときは別のメッセージになります
tar 形式(pg_dump -Ft)のダンプは対象外です。	-Fc、-Fd、-Fp のいずれかで出力し直してください
このダンプは lz4 圧縮です。/ データファイルが zstd 圧縮です。	gzip 圧縮(既定)か無圧縮(-Z 0)で出力し直してください
対応していないアーカイブバージョンです (N.N)。	PostgreSQL 18 以降の新しいアーカイブ形式です。-Fp(Plain SQL)で出力し直すか、連絡先までご相談ください
フォルダに toc.dat がありません。	Directory 形式はフォルダの中の toc.dat を指定してください

表示されるメッセージ・現象	原因と対処
アーカイブの読み取りに失敗しました(ファイルが途中で切れているか、壊れています)。	ダンプの転送やコピーが途中で終わっている可能性があります。ファイルサイズを元と比べてください
一時ファイルを作成できません / 書き込みに失敗しました	一時フォルダ(%TEMP%)の空き容量か権限が足りません。空き容量を確保してください
出力 CSV ファイルがオープンできませんでした	出力先を Excel などで開いています。閉じてから実行してください
WHERE 条件式が不正です。	理由が続けて表示されます。カラム名の綴り、引用符や括弧の対応、BETWEEN の AND を確認してください(7 章)
テーブルは見えるのに行が 100 行までしか出ない	ライセンス未登録の状態です(13 章)
Custom 形式のダンプを開くのに時間がかかる	件数を数えるために全テーブルの行データを展開しています。大きなダンプでは数分かかることがあります。急ぐときは [処理中止] で止められます
文字が化ける	ダンプのエンコーディング(プロパティで確認できます)で値を読んでいます。ダンプそのものの文字コードが壊れている場合は正しく表示できません

既知の制限

- ダンプファイル全体の大きさは 3GB まで動作を確認しています。それより大きいダンプや、1 行が 256MB を超える Plain SQL 形式のダンプは動作を保証しません(ご相談に応じます)
- lz4 / zstd 圧縮、tar 形式、PostgreSQL 18 以降の新しいアーカイブ形式は読めません
- 値は型ごとの書式変換をせず、ダンプの文字列のまま扱います。並べ替えはできません
- Ctrl+← / Ctrl+→ はページ移動に割り当てているため、入力欄で単語単位の移動はできません

お問い合わせ

読めないダンプやエラーがあれば、ダンプの形式(pg_dump のオプション)、PostgreSQL のバージョン、表示されたメッセージを添えて、下記の連絡先(メール)までお知らせください。障害調査では、設定ファイルの DEBUG を Y にして再現したときの PgDumpNavi.log をお願いすることがあります。

15. 著作権・免責事項・連絡先

本ソフトの著作権は Miyacode が保有します。本ソフトを使用したことによって生じたいかなる損害についても、作者は責任を負いません。ご自身の責任でお使いください。

転載・再配布は、配布ファイル一式を改変せずそのままの形で行っていただく限り自由です。雑誌・書籍・Web サイト等への収録の際は、事後で構いませんので下記連絡先までお知らせください。

本ソフトは圧縮データの展開に miniz(Rich Geldreich 氏ほか、パブリックドメイン / Unlicense)を使用しています。

作者	Miyacode
連絡先(メール)	goldteru2fft@gmail.com
作者の Web ページ	https://pgdumpnavi.goldteru2fft.workers.dev/

PostgreSQL は PostgreSQL Community Association of Canada の商標です。Windows、Excel は Microsoft Corporation の登録商標です。